

# サル害対策

## 県内で初 実弾での威嚇追い上げ実施



用の檻の設置、花火の支給、ボラン  
ティア・猟友会による追い上げ、モ  
ンキードックの養成などをあらゆる  
対策を実施してきました。近年では  
峰浜地区にまで生息地域を広げたこ  
とで被害に悩む農家が増えつづけて  
います。

しかし、秋田県内でサルの捕殺は  
認められていないため、抜本的な対  
策が見いだされていないのが現状で  
す。この実弾による追い上げについ  
ても、実証実験段階で、今後継続し  
て実施するかは未定です。

町では、サル被害から農家を守る  
ため可能な対策は積極的に実施して  
いきますので、農家だけでなく地域  
の皆さんのご協力をお願いします。



八森地区で実施しているサルの一斉追い上げ

| 年度別サルの捕獲頭数 |      |      |
|------------|------|------|
| 年 度        | 八森地区 | 峰浜地区 |
| 平成10年度     | 1    | -    |
| 平成11年度     | 3    | -    |
| 平成12年度     | 1    | -    |
| 平成13年度     | 11   | -    |
| 平成14年度     | 16   | -    |
| 平成15年度     | 6    | -    |
| 平成16年度     | 43   | -    |
| 平成17年度     | 34   | -    |
| 平成18年度     | 35   | 6    |
| 平成19年度     | 11   | 13   |

町内数か所に檻を設置して、捕獲したサルを奥山  
放獣しています。(現在檻17基)

1月17日から19日までの3日間、峰浜地区で実弾でサルの追い上  
げが実施されました。  
この追い上げは県の学術調査を目的として行われ、実弾での追い  
上げは県内初の試みです。地元の猟友会など約30人が参加しました。

今回の追い上げは、サルの群れの  
分布状況や農作物への被害を調査す  
る県のモデル事業の一環で、地元の  
猟友会を始め県や町の職員らが参加  
しました。

今まではゴム弾での追い上げでし  
たが、実弾を装填した散弾銃の追い  
上げは県内で初めての試みです。し  
かし、サルは県の捕獲鳥獣の対象で  
はないため、あくまでも威嚇が目的  
です。散弾が飛び散る際の大きな音  
や、弾が近くの樹木や土などに当た  
る衝撃音等が、追い上げ効果がある  
とされています。

初日の17日は、大久保岱地区から  
水沢川に沿って水沢ダム周辺まで  
の間で行われました。水沢川から追  
い上げる班と八森地区に逃げるのを  
防ぐため対岸の尾根から追い上げる  
班の2班体制で実施しました。雪が  
降る中、猟友会員らが双眼鏡や発信  
器でサルの行動を監視し、銃声を響  
かせながらサルを追っていきま  
した。

町では平成8年に八森地区でサル  
が異常発生して以来、電気柵や捕獲

| 年 度    | 被害面積 (単位:ha) |      | 被害金額 (単位:千円) |       |
|--------|--------------|------|--------------|-------|
|        | 八森地区         | 峰浜地区 | 八森地区         | 峰浜地区  |
| 平成12年度 | 6.67         | -    | 351          | -     |
| 平成13年度 | 10.32        | -    | 1,739        | -     |
| 平成14年度 | 0.77         | -    | 1,134        | -     |
| 平成15年度 | 0.74         | 0.26 | 1,061        | 184   |
| 平成16年度 | 0.81         | 0.74 | 1,280        | 589   |
| 平成17年度 | 0.53         | 0.78 | 1,051        | 801   |
| 平成18年度 | 0.43         | 0.99 | 937          | 912   |
| 平成19年度 | 0.36         | 1.40 | 754          | 1,000 |

# 自殺予防講演会

～経済生活苦について対策を学びました～

1月22日、ファガスで経済生活苦を  
テーマとした自殺予防講演会を開催し  
たところ、町内外から約150名が参  
加しました。

町では、自殺防止に向けた事業を平  
成18年から重点的に取り組んでいま  
す。今回は自殺原因の上位にある経済  
生活苦の解決方法などについて学ぼう  
と、JA秋田やまもとや秋田県漁業協

同組合、商工会の各地元女性部の共催  
で行われました。

始めに加藤町長が「厳しい景気動向  
で不安に感じている方も多いと思いま  
す。この講演会で解決方法などに理解  
を深めてください。昨年は自殺者が減  
りましたが、自殺者ゼロに向けて地域  
の方と共に頑張りたい。」と挨拶しま  
した。

続いて、NPO法人蜘蛛(くも)の  
糸の佐藤久男(秋田市)理事長が「賢  
く明るく家庭を支える」と題して中小  
企業経営者が抱える多重債務を解決す  
るための手法を説明しました。具体的  
には利息の安い金融機関に切り替えて  
ローンの口数を減らし、返済期間を長  
期化する方法を挙げ、「多重債務から  
助かる方法はたくさんあります。絶望  
の壁を希望のハンマーで破りましたよ  
う」と参加者へ呼びかけました。



また、読聞かせサークルかもめの会  
員が「心といのちを大切に」作文コン  
クールの特選作品を朗読した後、秋田  
県司法書士会が多重債務を抱えている  
人の相談を受け付けました。